

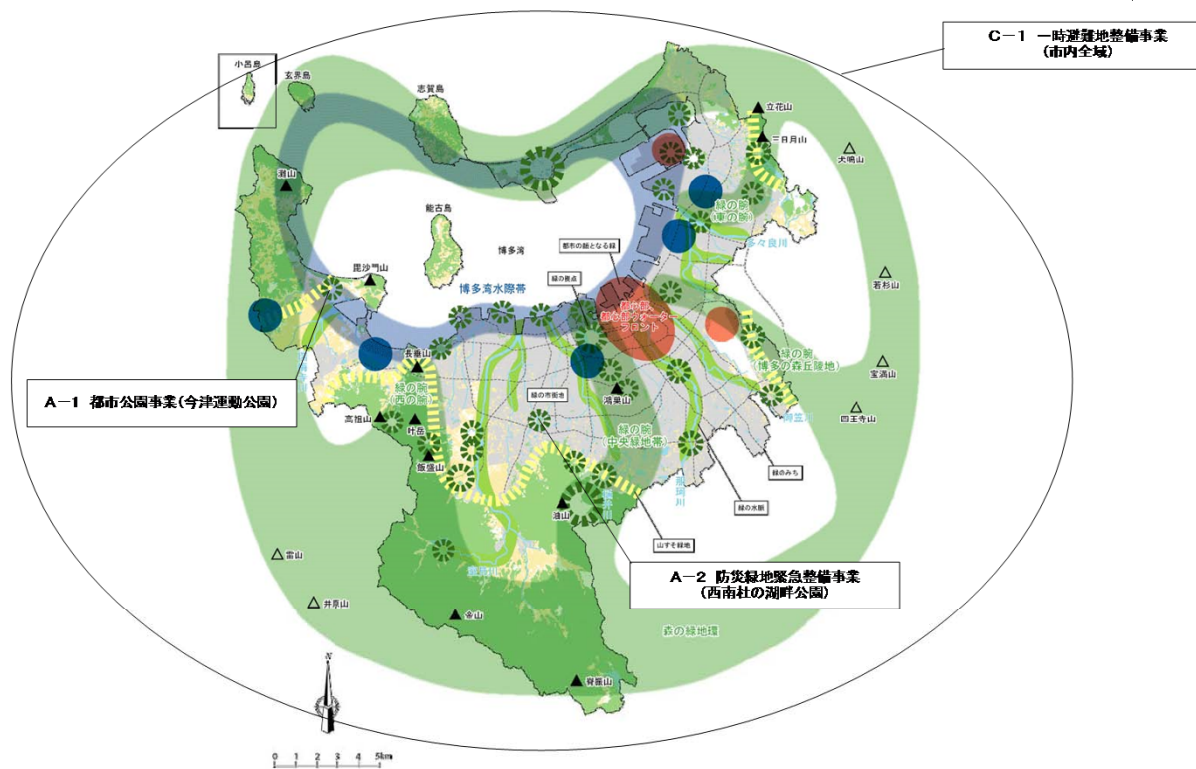
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	安全・安心を支える緑づくり(防災・安全)		
計画期間	平成27年度～平成31年度	事後評価実施時期	令和元年度	全体事業費	2,925百万円	国費率	1/2 1/3

1)事業の実施状況	対象事業	要素事業名				
		A.基幹事業	○都市公園事業(今津運動公園) ○防災緑地緊急整備事業(西南杜の湖畔公園)			
	B.関連社会資本整備事業	-				
	C.効果促進事業	○一時避難地整備事業				
	その他関連する事業	-				
進捗状況	A.基幹事業	要素事業名		事業内容(延長・面積等)	事業進捗(令和元年度末時点)	次期計画
		○都市公園事業(今津運動公園)		今津運動公園整備公式野球場整備等	完了	-
		○防災緑地緊急整備事業(西南杜の湖畔公園)		都市開発資金償還	一部完了	実施予定
C.効果促進事業	○一時避難地整備事業		2公園新規整備	完了	-	
2)事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象	指標名	当初現況値 (H27年度)	目標値 (H31年度)	実績値 (H31年度予定)	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因
		地域の防災対策の充実していると感じる市民の割合	39%	46%	40% (H30年度末実績)	広域避難場所となる公園の整備や用地取得を行い、地区避難場所となる公園を2箇所整備したが、目標値を達成できなかった。
		地域に緊急時の避難場所が整備されていると感じている市民の割合	45%	66%	46%	広域避難場所となる公園の整備公園の整備を1箇所、用地取得を1箇所行い、地区避難場所となる公園を2箇所整備したが、直近の指標調査を行ってならず実績値は不明である。なお、本指標と類似した①の指標が、当初現況値を維持していることから、本指標についても同程度であると推測される。
	成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・都市公園事業について、大規模な運動公園を整備することで運動等総合的な利用に資する公共空間の創出。 ・防災緑地緊急整備事業について、広域避難場所となる公園緑地空間の創出。				
	効果促進事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・一時避難地整備事業について、福岡市の地域防災計画における地区避難所となる近隣公園の新規整備。				
3)その他	今後の方針	・都市公園事業については、引き続き大規模な公園を整備することにより、市民の休息、運動、レクリエーションの場として総合的な利用に資する公共空間の創出を目指していく。 ・防災緑地緊急整備事業については、引き続き、市街地などの避難場所が不足している地域において、防災・減災に資する公共空間を創出していく。				

「安全・安心を支える緑づくり(防災・安全)」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (H31年度予定)
緑による都市の防災、減災対策を推進するため、災害時等に避難場所となる公園・緑地の整備を進める。	①地域の防災対策の充実していると感じる市民の割合	39%	46%	40% (H30年度末実績)
	②地域に緊急時の避難場所が整備されていると感じている市民の割合	45%	66%	46%



主な事業効果	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園事業については、今津運動公園の大規模な公園を整備することにより、市民の休息、運動、レクリエーションの場として総合的な利用に資する公共空間を創出することができた。 防災緑地緊急整備事業については、地域防災計画における広域避難場所となる西南社の湖畔公園の用地取得を行うことができ、災害時の避難場所となる公園・緑地を創出することができた。
--------	---